

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
このモニターアームは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッケージケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

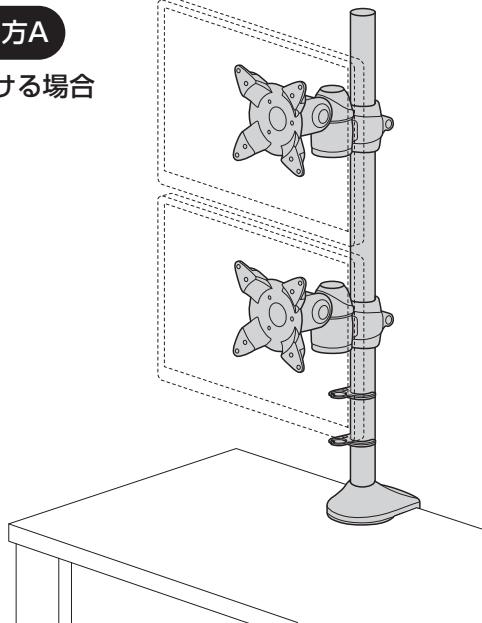
★用意していただくもの・・・プラスドライバー、マイナスドライバー  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

**完成図**

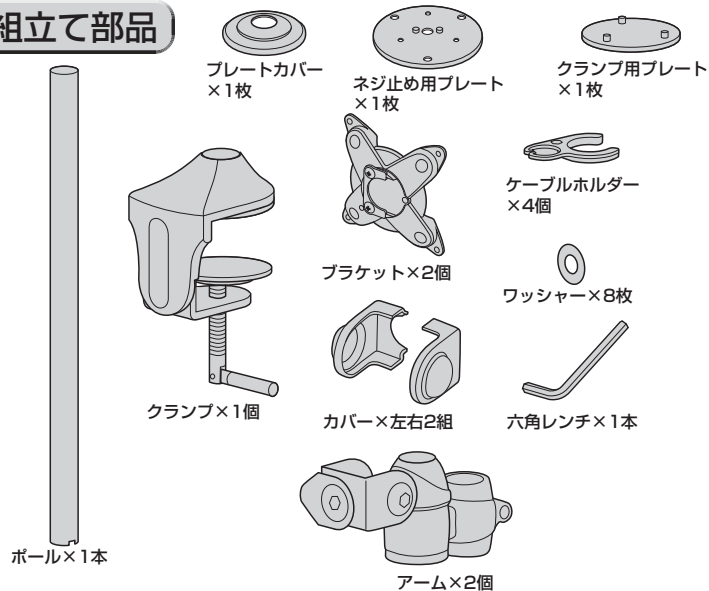
※このモニターアームは2種類の取付け方法があります。  
用途に合わせて組み立ててください。

**ポールの取付け方A**

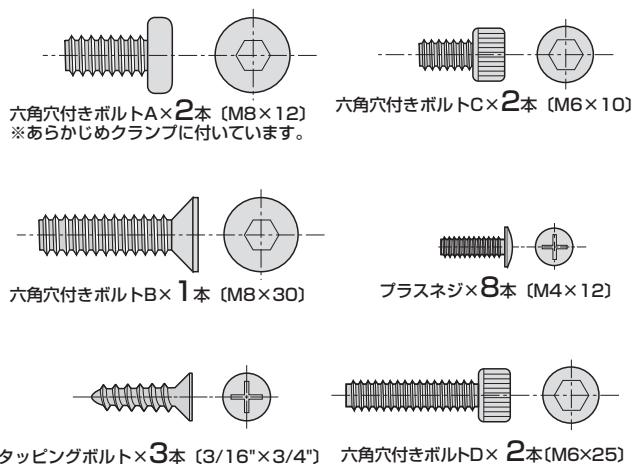
**クランプで取付ける場合**



**組立て部品**



**使用ネジ**

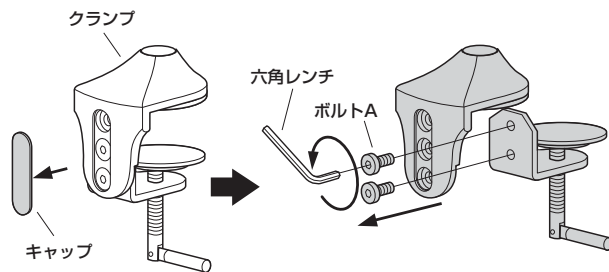


**ポールの取付け方A**

**クランプで取付ける場合**

**1 クラмпを分解します。**

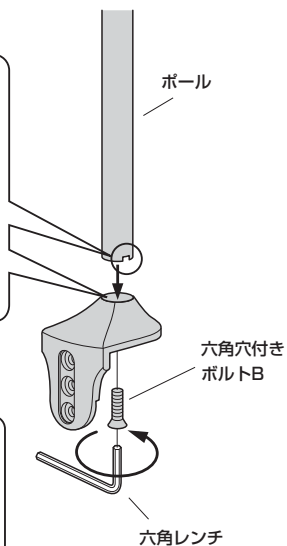
キャップをはずしてから六角レンチでボルトをはずします。



※マイナスドライバー等を使うと外しやすいです。

**2 クラмпにポールを取付けます。**

ボールの切り欠きとクラムの穴の内側の段差を合わせます。



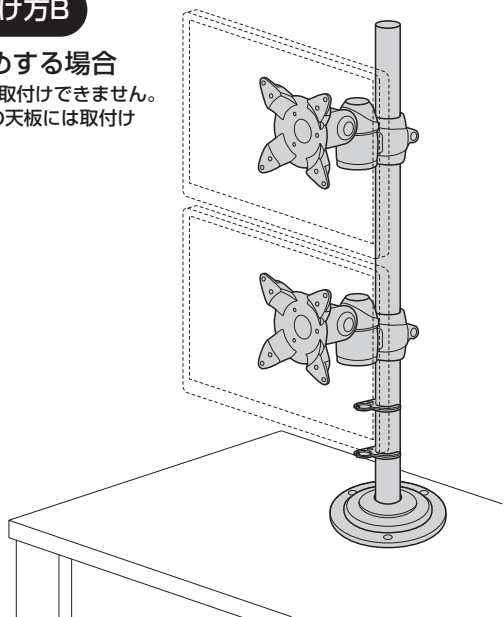
**使用ネジ**

六角穴付きボルトB (M8x30)

**ポールの取付け方B**

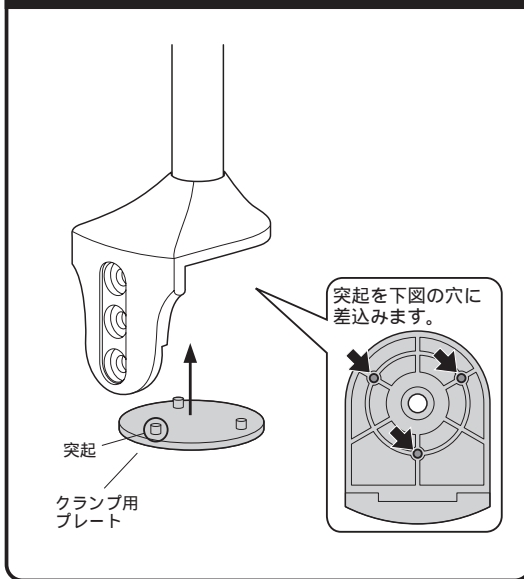
**天板にネジ止めする場合**

※木製天板以外には取付けできません。  
※厚さ18mm以下の天板には取付けできません。



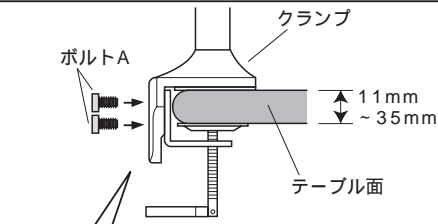
## ポールの取付け方Aの続き クランプで取付ける場合

### 3 クランプ用プレートを取付けます。

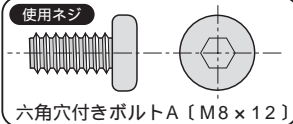
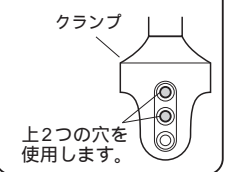


### 4 クランプを取り付けるテーブル面の厚さを確認します。 取り付け可能な机側面の幅は11mm～60mmです。

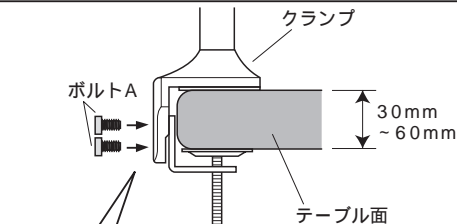
テーブルの厚さが11～35mmの場合



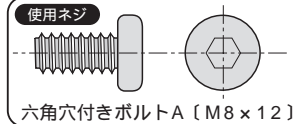
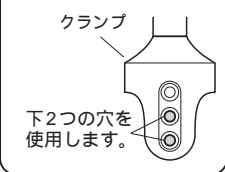
後から見た図



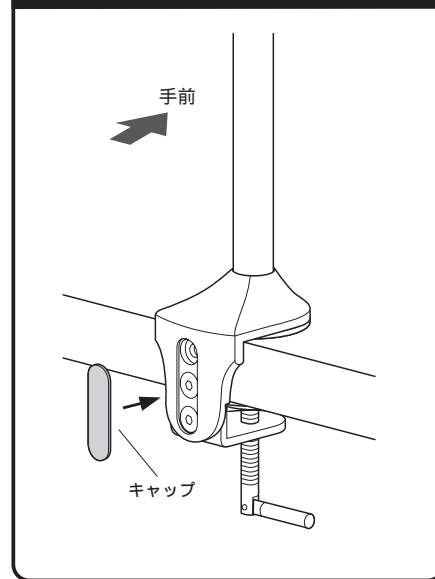
テーブルの厚さが30～60mmの場合



後から見た図



### 5 キャップを取付けます。



## ポールの取付け方B 天板にネジ止めする場合

木製天板以外には取付けできません。  
厚さ18mm以下の天板には取付けできません。

### まずは取付ける天板等の材質、構造をご確認ください。

- ・木製天板である。
- ・天板の厚さが18mm以上である。
- ・天板の芯材が、パーティクルボード、天然木、MDF (中質繊維板) などの内部に空洞がない材質である。

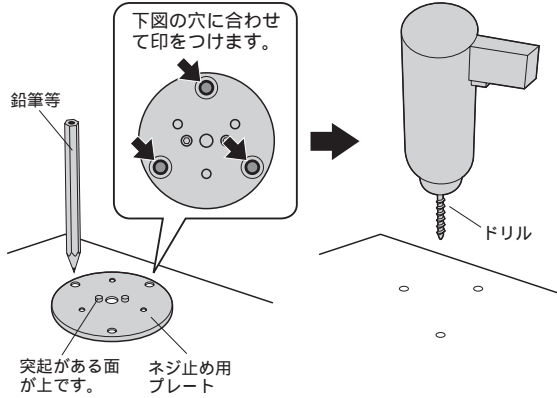
以上の条件にあてはまらないものには取付けることができません。

フラッシュ構造やハニカム構造の天板に取付けると、ボルトがはずれてモニターアームが脱落するので絶対に取付けしないでください。

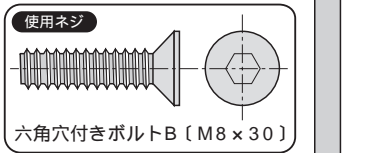
天板の材質がわからない場合は、デスク等の各メーカーにお問い合わせください。

### 1 天板にドリルで下穴をあけます。

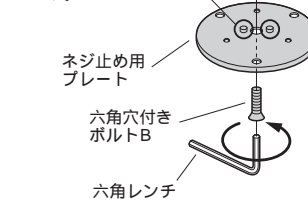
- ① 取付ける位置を決め、ネジ止め用プレートの穴に合わせて、鉛筆等で天板に印をつけます。
- ② ドリルで直径4mm、深さ15mmの下穴をあけます。



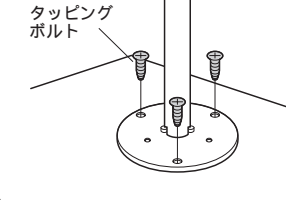
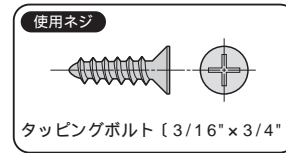
### 2 ネジ止め用プレートにポールを取付けます。



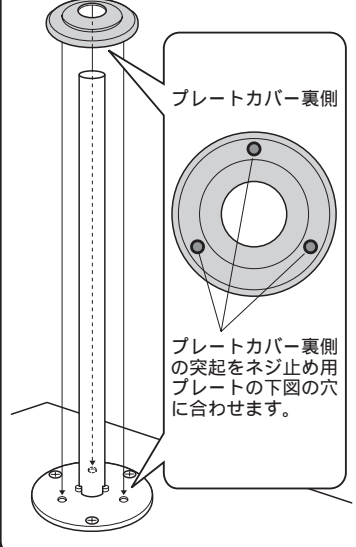
ポールの切り欠きとネジ止め用プレートのボルトの頭を合わせます。



### 3 天板にプレートをネジ止めします。



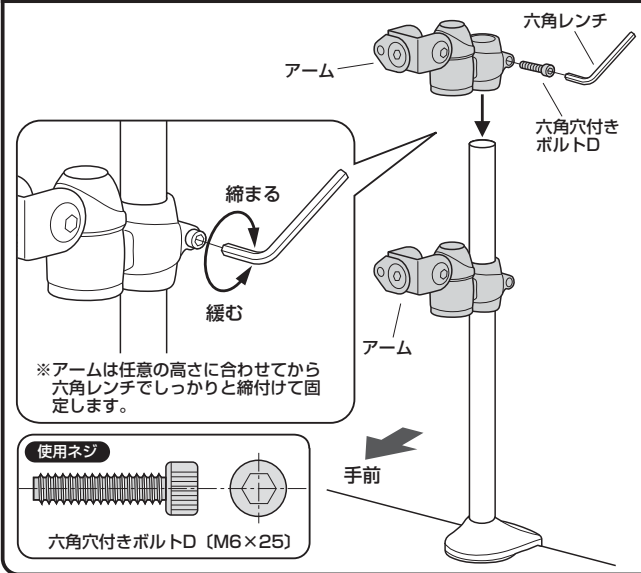
### 4 プレートにプレートカバーを取付けます。



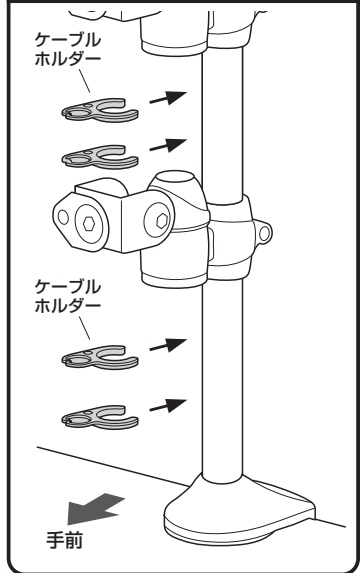
# アームの取付け方

※ここから先の説明のイラストはポールをクランプでとめたものですが、  
天板にネジ止める場合もアームの取付け方は同じです。

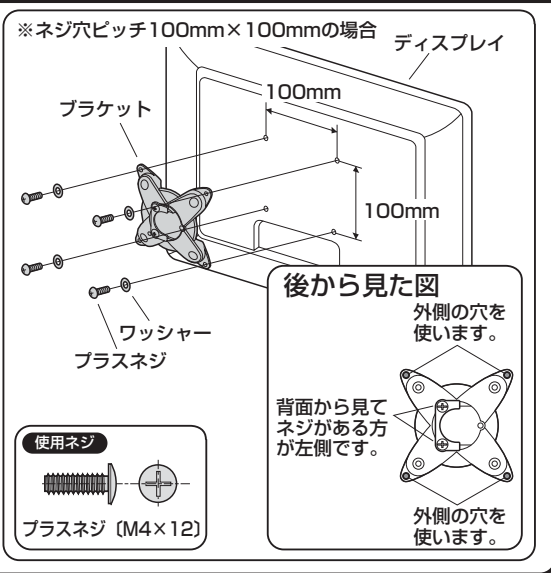
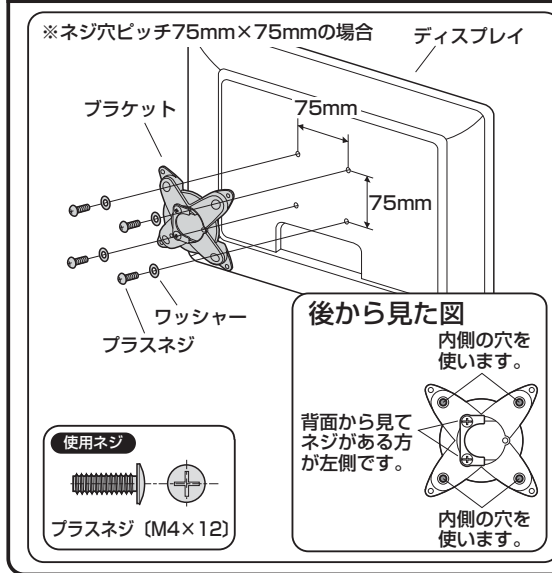
## 1 アームを2個とも取付けます。



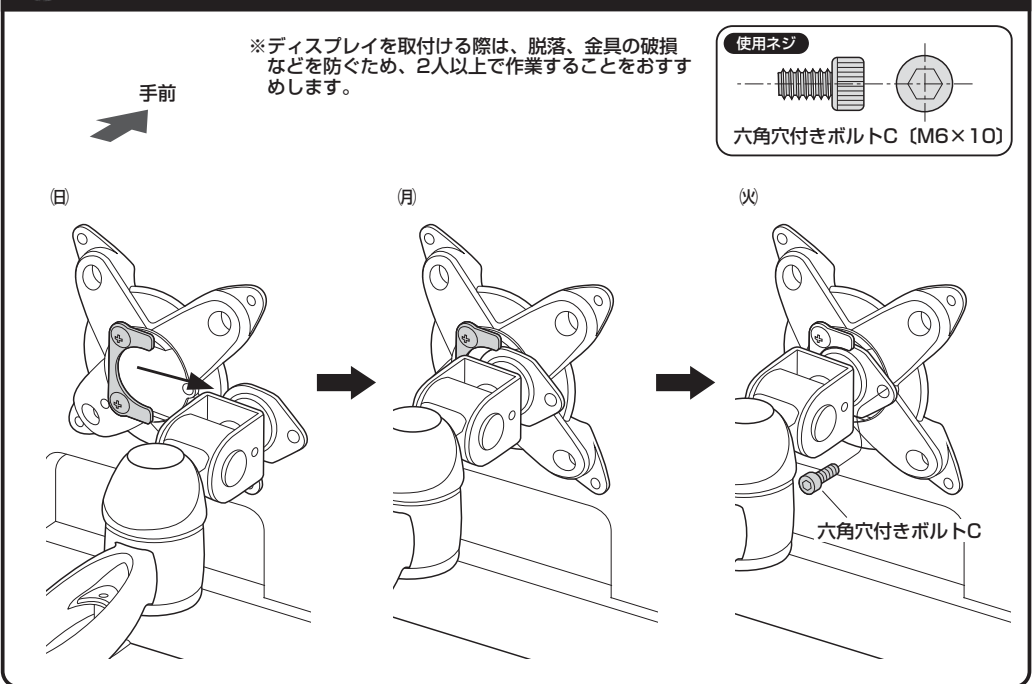
## 2 ケーブルホルダーを取付けます。



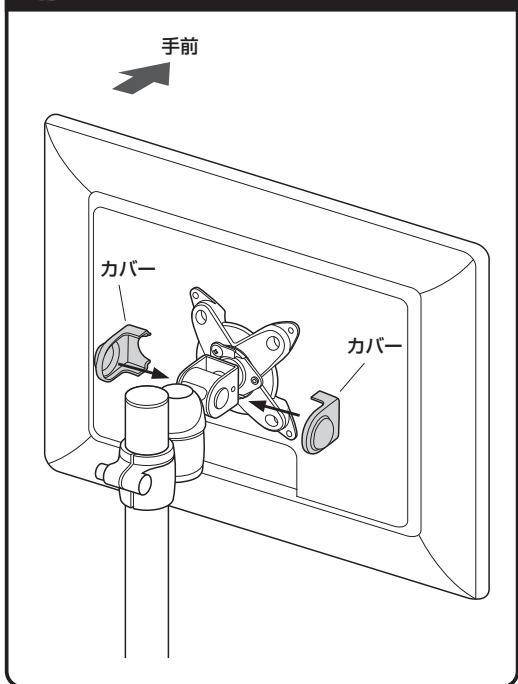
## 3 ディスプレイにブラケットを取付けます。



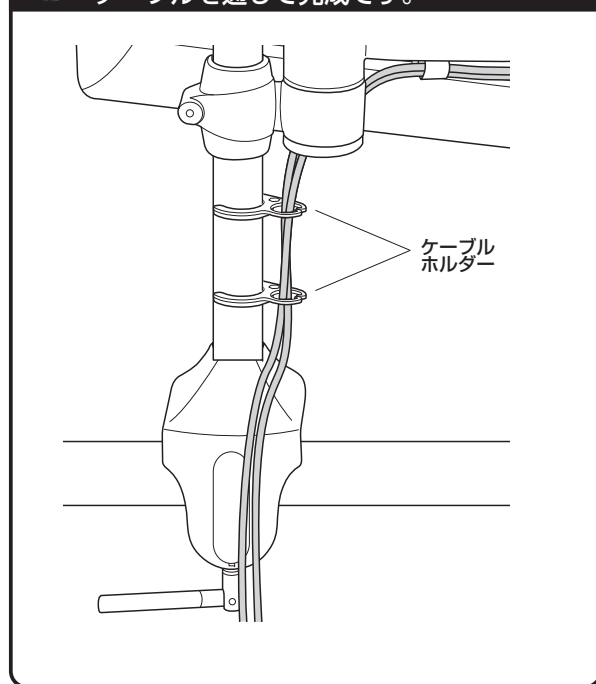
## 4 ブラケットをアームに取付けます。



## 5 カバーを取付けます。



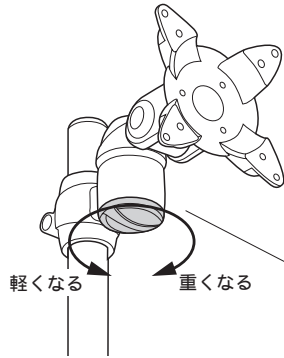
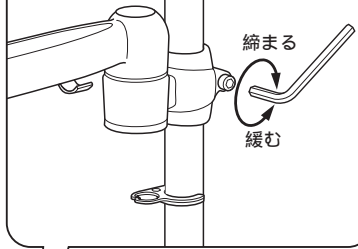
## 6 ケーブルホルダーにディスプレイのケーブルを通して完成です。



# 各部の調整方法及び可動範囲

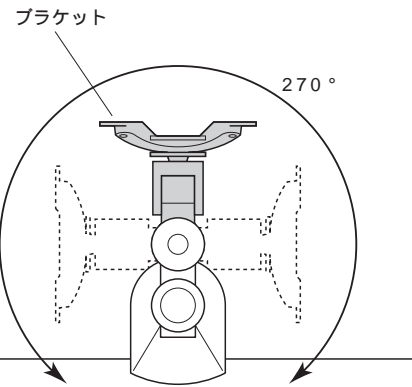
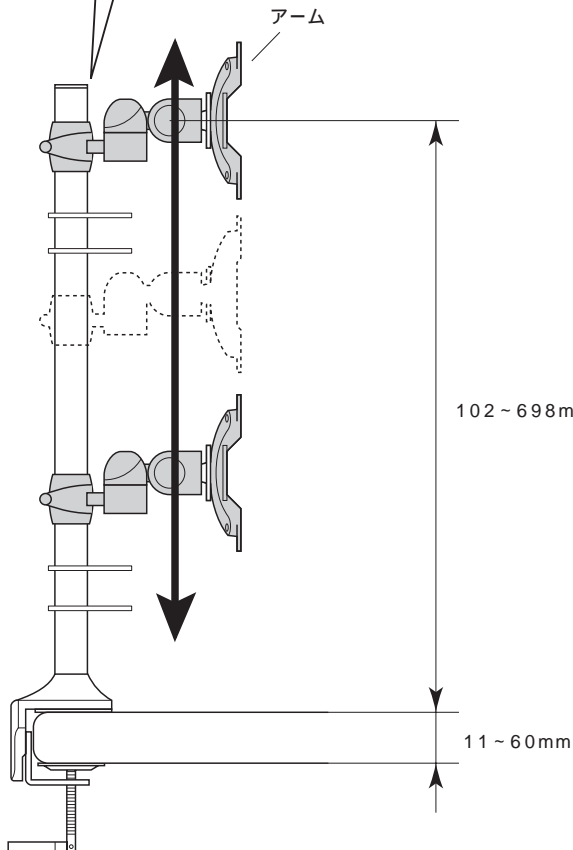
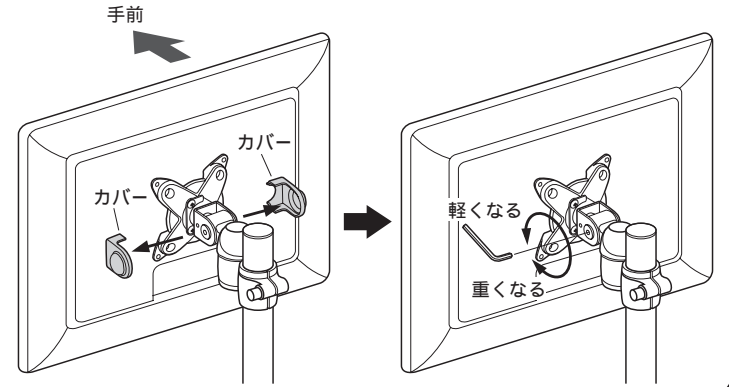
## アームとブラケットの動き方

アームの高さを変えたい場合は六角レンチでボルトを緩め、位置を調節してから締め付けて固定します。



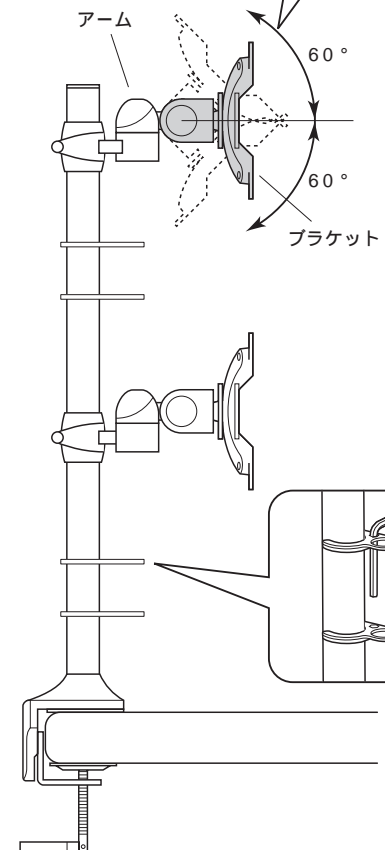
アームの動きが軽すぎる場合はアーム下面のつまみを回して調節します。

アームの動きが軽すぎる場合はカバーをはずし、六角レンチでネジを締め付けて調節します。



**▲ 注意 ▲**

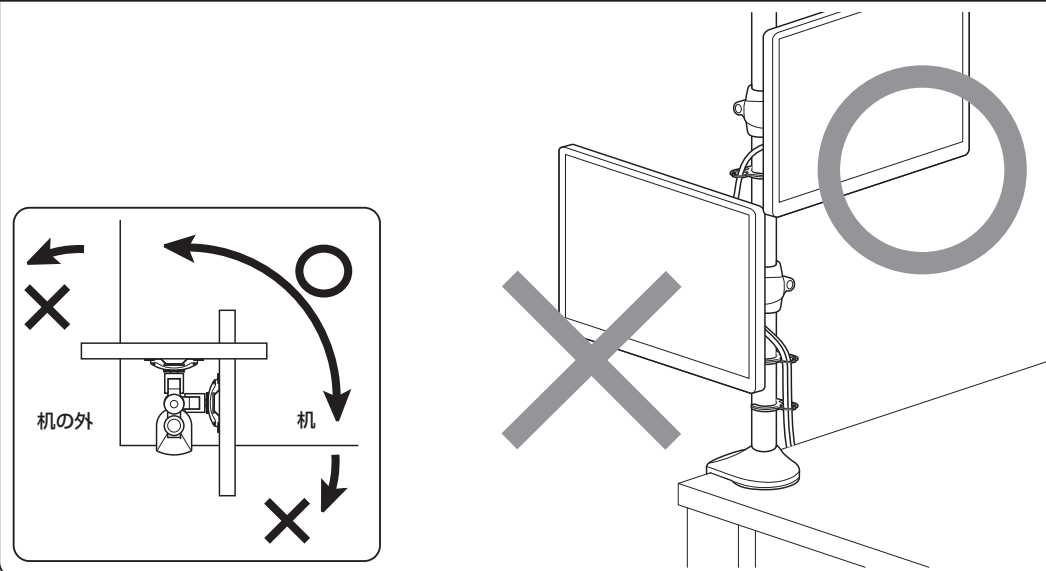
天板の外にディスプレイが出る状態での使用はさけてください。



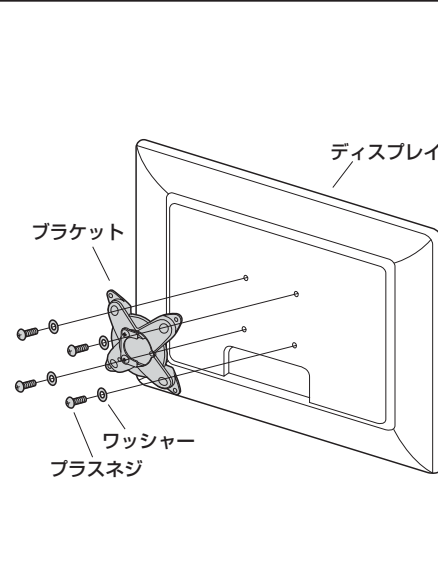
六角レンチを使い終わったらケーブルホルダーに差し込んでおいてください。

安全の為に注意していただく点

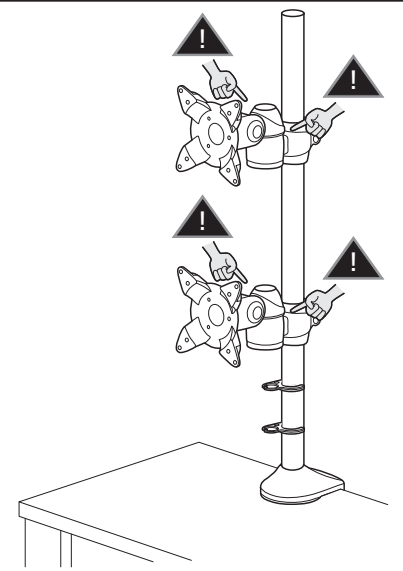
落下する恐れがあるので、天板の外にディスプレイが出る状態での使用はさけてください。



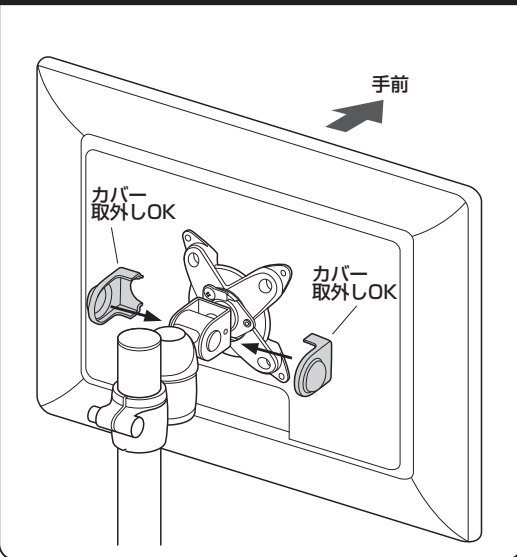
ディスプレイは4つのプラスネジでしっかりと固定してください。



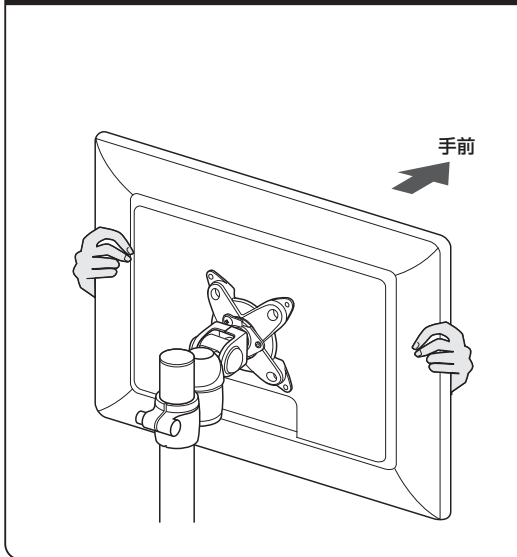
可動部分で指をはさまない様にお気をつけください。



カバー以外の物を取り外さないでください。



ディスプレイの調整は必ず両手で行って、片手での使用はおやめください。



その他・・・

- ⚠ 本製品を、振動のある所に置くのは避けてください。
- ⚠ 8Kgを越えるディスプレイは取り付けしないでください。
- ⚠ アーム部に物を置かないでください。
- ⚠ 室温の元で操作してください。

以上の点に注意して取り扱ってください。